

2022年度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名: OHANAサポートスクール 公表日: 2023年3月24日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			身体を動かす活動では、野外(公園)を利用し安全に配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内バリアフリー化されています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員それぞれの担当業務を期日や目標を設定し、振り返りを行っています。他の職員に確認してもらうことで次の業務に活かしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価委員会を実施して、解決策を考え実行することで、改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は、実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修・社外研修・オンライン研修等に職員全員が参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談員や保護者との面談を通して現在の状況等をアセスメントし現状にあった個別の計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			現在のアセスメントツールの改善が必要と思うので新しいアセスメントを作成しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムの立案担当者が職員と話し合いながら作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			パソコンを使ったカリキュラムを取り入れたり、日本文化に触れるようなプログラムを立案しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれにプログラムを立案している。長期休みには長時間の中で行えるようなプログラムを作成しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談できる利用者には面談を行い、保護者の意見も取り入れながら、計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			プログラム・支援方法などを話し合い、役割分担に関して確認を行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りは翌日に行っています。困り事や、トラブル又よかったことについて話し合いをし支援に振り返りを行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を取り職員で共有し、月1の会議で支援の検討・改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、職員同士で話し合いながら、支援内容の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			複数組み合わせで支援を行っています。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の行事予定表を共有していただき、確認を徹底しています。また送迎時にその日の様子等について連携していただけるように心がけています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在医療的ケアが必要な利用者様はいませんが、医療的ケア児等支援者養成研修に参加し、知識技能の向上に努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談員さんを通して情報の共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後サービス意向する場合は、放課後等デイサービスでの様子や支援内容について情報を共有しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	研修の時間帯がサービス提供内なので参加できていません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域のお祭りに参加させていただき地域のお子様との交流を行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		積極的に参加できるよう心掛けています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時等に現在の様子や気づき等を伝え情報の共有が出来るよう心掛けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			お子様の困り事や状況に変化があった場合等、又保護者様から相談を受けた場合、面談をし、支援に結び付くようにしています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明時に読み合わせをして説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談があった時は、面談を行い、必要な助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			講演会を行い情報の提供や、相談会などで連携をとれるようにしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設置し苦情があった場合には、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月間行事やカリキュラムを毎月発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			研修を行い取扱には注意を払っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			信頼関係を構築できるように心がけております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			講演会を開き地域の方々に参加いただいています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員に対しては、マニュアルの研修を行い周知しています。事業所内にマニュアルを置き観覧できるようにしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			オンライン研修や初任者研修で虐待防止研修を行っています。又、職員セルフチェックを行い、虐待防止と早期発見に繋がるようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束委員会を設置し研修を行っています。また身体拘束ゼロに向けての検討会も行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者より情報をいただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例があったときは必ず記録を取り職員間又は委員会で検討し、改善・解決を行っています。